

JIS

自動車用タイヤ—呼び方及び諸元

JIS D 4202-1994

(2006 確認)

平成 6 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 25.10.20 改正：平成 6.11.1 確認：平成12.11.20

官 報 公 示：平成12.11.20

原案作成協力者：社団法人 日本自動車タイヤ協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会（部会長 金原 淑郎）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（☎100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車用タイヤ—呼び方及び諸元

D 4202-1994

(2000 確認)

Automobile tyres—Designation and dimensions

1. **適用範囲** この規格は、自動車に用いるタイヤ（以下、タイヤという。）の種類及び呼び方、並びにタイヤ諸元の決定に必要な基本的事項について規定する。ただし、産業車両用、建設車両用、農業機械用及び二輪自動車用のタイヤには適用しない。

備考1. サイズごとの個別諸元については、この規格に準拠して公的機関で定めた規格（以下、該当規格という。）を参照する。

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって規格値である。ただし、1995年4月1日以降は参考値とする。

3. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS D 4102 ホイール及びリムの種類・呼び・表示

JIS D 4207 自動車用タイヤバルブ

JIS D 4218 自動車用リムの輪郭

JIS D 4230 自動車用タイヤ

JIS Z 8401 数値の丸め方

4. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 4000-1 : 1994 Passenger car tyres and rims—Part 1 : Tyres (metric series)

ISO 4209-1 : 1993 Truck and bus tyres and rims (metric series)—Part 1 : Tyres

ISO 4223-1 : 1989 Definitions of some terms used in the tyre industry—Part 1 : Pneumatic tyres

2. **用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS D 4230**によるほか、次のとおりとする。

- (1) **設計寸法** タイヤ設計の基準になる寸法。設計断面幅、設計断面高さ及び設計外径の総称。
- (2) **成長寸法** タイヤの走行に伴う成長を含む寸法。成長総幅及び成長外径の総称。
- (3) **新品寸法** 新品タイヤを規定の方法で測定したときの寸法。新品総幅及び新品外径の総称。
- (4) **総幅** タイヤを適用リムに装着し、規定の空気圧を充てんした無負荷状態のタイヤサイドウォール間の間隔。（タイヤの側面の模様、文字などすべてを含む。）
- (5) **断面幅** タイヤの総幅から、タイヤの側面の模様、文字などを除いた幅。
- (6) **外径** タイヤを適用リムに装着し、規定の空気圧を充てんした無負荷状態のタイヤの外径。
- (7) **断面高さ** タイヤの外径とリム径との差の $\frac{1}{2}$ 。
- (8) **偏平比** タイヤの断面幅に対する断面高さの比。
- (9) **最大負荷能力** 規定の条件下で、そのタイヤに負荷することができる最大の質量。
- (10) **複輪間隔** 複輪の内外車輪中心面の間隔。
- (11) **適用リム** タイヤの性能を有効に発揮させるために適したリム。

3. **種類** タイヤの種類は、用途、構造、形状などによって、**表1**のとおりとする。